



増林地区コミュニティ推進協議会のシンボルマークです。

コミュニティ 川のあるまち

2010 平成22年

3.31

ましばやし

No. 31 コミ協だより

増林地区コミュニティ推進協議会ホームページのURL http://homepage3.nifty.com/mashibayashi_comi/index.htm

発行/増林地区コミュニティ推進協議会 ☎343-0011 越谷市増林3丁目4番地1号 増林地区センター内 ☎962-2855

記念式典行われる

創立四十周年スローガン
「これからも はばたきつづけ！ 東小」

地域内にある東越谷小学校が、このたび創立四十周年を迎えました。今までに七二七名の卒業生を送り出した月日は、四十年と言う歴史を感じます。

「四十周年記念」と冠をつけて行った記念行事の一つ一つは、子ども達の良い思い出になることでしょう。スローガンにもあるように、元氣いっばいの束つ子らしく、どうぞこれからもはばたき続けて下さい。



創立二十周年スローガン
「元氣な歌声 笑い声 心はひとつ 花田小」

花田小学校は、平成二年に開校され、今年度二十周年を迎えました。校歌にある「ギリシャの神殿におもいはせる学びや」も二十歳を迎え、すっかり地域にとけこんでいます。

一月十六日に行われた周年式典では、記念事業の一つのピオトップ改修整備時の映像や、姉妹校のハワイ州エバ小学校の様子がビデオで紹介されました。花田小の特色でもあるハーモニの美しい歌声と、器楽演奏も披露され、心に残る式となりました。



自治会紹介

花田五丁目自治会

花田五丁目自治会は、平成三年度に花田土地区画整理事業に伴う住居表示の変更があり、旧自治会である宮前三区・百合ヶ丘・グリーンタウンの三自治会が花田五丁目地区となり、合併し発足した自治会です。

間もなく二十年を迎えますが、地域住民相互の親睦を深め、住みよい町づくりを目標に文化・スポーツ・レクリエーション等を通して、より地域の人達が接することで地域の活性化をと歩んできているところです。

年間の行事として、新年会・地区清掃・納涼祭・ボーリング大会・スポーツ大会・各種研修会の参加を各部が中心とな

り計画・実施しています。

年二回（七月・十一月）の地区清掃では親子での参加もあり、地域は自分達できれいに住民の意識がしっかりと定着し、ごみ集積所もきれいな所が多いです。

納涼祭では、花田小の先生方も盆踊りの輪に加わり、第五公園では狭い程大勢の人で賑わいます。

毎年の地区体育祭は優秀な成績で、今年優勝旗を手に入れました。市内体育祭や駅伝にも多くの代表が活躍しています。子ども駅伝も優秀な成績で、これからの成長が楽しみです。

会館は、老人会（花五寿会）のサロンや事業活動、子ども会活動、卓球やダンスの練習、その他会合等幅広く使われ、地域住民の大事な交流の場所となっています。

現在、自治会加入は約四一〇世帯で、全世帯数の加入を呼びかけ、さらなる住みよい町を目指すところです。



祝成人

成人した僕たち 渡部修平

成人式の代表をやってみないかと先輩から声がかかり、その時初めて「成人」という言葉を意識し始めました。

周りの仲間を声掛けし、一月十日の成人式に向けて、僕たちは夏の終わりに本格的に準備に取りました。冬に入ると、僕たち実行委員も慌しくなり「良い式に、最高の一日にしよう」という気持ちで強くなり、と同時に責任、不安も改めて感じました。

成人式当日の朝、目が覚めると外は素晴らしい天気でした。越谷東中にはそくそくと、五年前の「女子、男子」から「女性、男性」に変わった振袖姿の美女、スーツ姿のイケメン達が集まり、少しドキッとさせられました。懐かしさも、会話をすればすぐに当時の感覚を思い出し、式典会場である体育館内へ。体育館の校歌を前にして、昔のように皆が集まっている光景はとても不思議な感覚で、とても嬉しくなりました。式典も厳粛な雰囲気の中、無事終えることができました。茶話会を含め、短い時間でしたが体育館には自然な笑顔で溢れていたと思います。この日のために協力してくださった地域の皆様、実行委員の皆様、当時の先生方や他にも多くの方々の協力があった



行うことができた、成人式。感謝の気持ちでいっぱいです。当時、迷惑ばかりをかけていた僕たちも先生方に、感謝の言葉を素直に言うことができ、「少しは大人になったかな」と思いました。いや、これから先はもっと新成人としての自覚を持って歩んでいかなければなりません。五年後、十年後の自分たちを楽しみに。

成人式を終えて 木下佳昭
成人式の実行委員として成人式に関わる事が出来て大変光栄でもあり、とても良い思い出が出来ました。実行委員は九月頃から本格的に開始し、みんな「良い成人式にしよう」と、一致団結していききました。二次会を含め、ダンスやオリエンテーションなど必死になんて考えて多少の不安を抱きながら本番を迎えました。しかし、成人式当日、このような不安は良い形でなくなりました。

たくさんのお友に参加していただき、とても活気のある成人式になりました。最初、女子はあまり誰が誰かわかりませんでしたが、男子はあの頃の若い時の気持ちも持っていたり、またふとした瞬間の大人になったところを垣間見て互いに成長を感じました。全体として、オリエンテーションなどは旧友に手伝ってもらってとても大成功だったと思います。成人式は短い時間でしたが、一生の思い出となり、とても大切な時間になりました。

増林地区	
対象者数	一六一人
出席者	一一五人
出席率	七七・六%
対象者数	二二七人
出席者	二二〇人
出席率	七三・八%

全国大会・関東大会出場おめでとう!!

輝いてる小・中学生



伯耆田 茜選手
熊本県にて剣道全国大会に出場しました。



有田京平選手
東京・有明にてテニス男子関東大会に出場しました。



二方恵里奈選手
神奈川県にてジュニアオリンピックに出場しました。

十一月一日(日)参加者約六八〇〇名。晴天にも恵まれ、第八回ときめきチャレンジまじりやしが盛大に開催されました。今回、東中の吹奏楽は初出演。地域の皆様のご協力もあり、すつかり増林の一大イベントとして定着した感があります。今年は十月三十一日(日)です。

十二月五日(土)「地域の防犯」についての東部地域振興センター所長の講演に、百名を越す参加者があり、地域防犯に対する関心の高さがうかがわれました。

三月十三日(土)視察研修会は、宮代町の「新しい村」を視察しました。

総務企画部会

二十一年度をふり返って



二月七日、総合体育館にて、なわとび大会が行われました。

花田小学校三年生の須永大護さんは、時間跳びの部門で昨年に引き続き優勝をしました。今年は一時間十一分三十七秒を跳んで、大会新記録を出しました。

「練習の成果が発揮できました。来年もがんばります。」と、また練習に励んでいます。

ますますの活躍を期待したいです。

ホームページ運営委員会

ホームページをとおして、タイムリーな情報発信を目的として、コミ協の活動にリンクしたホームページ作成会活動を行う。

七月十一日 年度計画検討と現状ページの確認

九月五日 コミ協サロンのページ作成、ポスター原案検討

十月十七日 子育てサポート検討、じゃが芋植えのページ作成

十一月十四日 チャレンジまじりやし、収穫祭のページ作成

二月二十日 ウォーキング、子育て、コミ協講演会のページ作成

四月十日 コミ協研修会のページ作成と年度活動のまとめ(予定)

ふるさと部会

三事業を実施しました。

「花を咲かせ隊」では、透かし百合の花を咲かせていただきました。昨年四月の初めに植えると間もなく芽を出し、六月には1m位に育ち、梅雨空にきれいで大きな花が咲きました。

今年三月、隊員の募集をし、地区センター脇の道路沿いに百合の球根植えの作業をしました。見事な花が目まぐるしく咲いてきました。

「小麦饅頭の販売と体験」(ときめきチャレンジまじりやし)は、作るの間に合わない程でした。買えなかった方には本当に残念でした。

「さわやかウォーキング・15」(十一月七日)では、百名以上の参加で、約10kmのコースを自然や歴史、文化に触れながら体力の増進をはかりました。

吉川市の延命寺は、武蔵国札所第一番の入り口、天明六年(一七八六年)安全天下泰平を願い建立された徳川家ゆかりの寺で、とても立派でした。

帰着後の豚汁、おにぎり、収穫大根、野菜等に心身に満たされた十五回目でした。

ふれあい部会

農産物作りの体験を通して、物作りの喜びを味わうとともに、世代間の交流をはかることを目的とした部会です。

今回も五月にさつま芋の苗を植え、八月十二日には体験希望者とじゃが芋・大根の種子を蒔きました。終了後、西瓜をいただき、解散しました。



また、ふれあい農園の看板が、カラフルで楽しいものになります。

しあわせ部会

「子育てサポート」は、毎回二十五組の定数を上まわる希望者がいる人気事業になっています。「コミ協サロン」は、多数の先輩方の参加を得て、各回とも盛況で楽しい時間を過ごして頂いています。「やさしい介護」も講座の実施を心待ちにしてください。

新年度に向け、さらなる内容の充実、パワーアップを目指し、部員一同力を合わせて取り組んでいきます。

一緒に活動してください。地区センターまでご連絡ください。

地域安心部会

地域のみなさんの安全・安心な生活を守ることを目的に、毎年さまざまな活動を行っています。

昨年引き続き、標語看板の設置・啓発事業を行いました。増林地の公園・自治会館など、十三ヶ所に五種類の看板を設置しました。

いづれも蛍光灯の寿命が近づいてきたため、皆さんに気づいていただきたいと思います。

コミ協視察研修

三月十三日(土)視察研修へ行ってきました。

南埼玉郡宮代町にある「新しい村」は、野菜の直売所、一年を通して「農」を体験する講座、イベント・二〇〇種類の花々が咲くハーブ園や果樹園等がある観光農園です。

イベントの一つ「かかしまつり」は、幼稚園・保育園・小中学校・大人・家族の部からなり、昨年は九十七体が展示され、大勢の人が投票しました。稲に対する関心、知識を深め、日本人の主食としてのお米を再認識してもらう目的も達成されたようです。



編集後記

あれほど熱狂した冬季オリンピックも終り、四年に一度の日、その時の競技場面はしばらく私達を元気づけてくれることでしょう。コミ協だより「まじりやし」もその時のホットな話題をお届けし、三十一号を迎えます。皆様のご協力に感謝申しあげ前進してまいります。

(ま)